



(様式2)

「探究的な学習活動における IT・データサイエンス活用促進事業」報告書

学校名	北海道ニセコ高等学校
実施日時	令和6年9月20日(金) 13:20~15:05
講師	・株式会社ニトリホールディングス 執行役員 兼 情報システム改革室 室長 株式会社ニトリデジタルベース 取締役 荒井 俊典 様 ・株式会社ニトリホールディングス 情報システム改革室 組織戦略・教育改革チーム 丸山 陽介 様
実施概要	<p>1 ねらい データサイエンスの基礎的な知識を習得し、データを活用した課題解決の資質能力を身に付ける。特に、企業の専門家の指導を通じ、実社会での応用力とリテラシーを育成する。</p> <p>2 日程 令和6年9月20日(金) 13:20~ ねらい・講師紹介 13:25~15:05 講話およびグループワーク</p> <p>3 講義、研修等の概要 前半では、ニトリの企業としての歴史、特徴、アプリ開発、データ活用への取組について講義が行われました。また、実際のオフィスをオンラインで見学し、ニトリの取組への理解を深めました。 グループワークでは、生徒が5人1組となり、羊蹄山麓エリアにおけるニトリの出店場所を各市町村のデータから選定する課題に取り組みました。 グループワーク後には、実際にニトリが出店エリアを決定する際に使用するデータや、業務の合理化におけるデータ活用事例について講義が行われました。</p>   <p>4 成果(生徒・教員の変容及びねらいの達成状況等) 生徒は、企業がどのようにデータを収集・分析・活用しているかを具体的に学び、データの活用がビジネスにおいて大きな効果をもたらすことを理解しました。また、グループワークを通じて、データに基づいた判断の重要性を体験的に実感しました。 今後実施する探究学習などの場面で、データを活用した課題解決に取り組むための基礎的な知識・技能を身に付けることができました。</p>